

はじめに

春日井市は、濃尾平野と尾張丘陵に広がり、緑豊かな東部丘陵やさわやかな風を運ぶ庄内川に抱かれた豊かな自然環境と良好な都市環境との調和を図りながらまちづくりを進めています。

こうした中、平成13年9月には、「春日井市環境基本条例」を制定するとともに、市民や事業者、市が一体となって環境都市春日井の実現をめざす「環境都市」を宣言し、平成14年3月には、本条例に基づき、「春日井市環境基本計画」を策定し、環境に関する様々な施策を展開してきました。

しかしながら、本計画策定から10年が経過し、地球温暖化の進行や生物多様性の危機などの自然環境問題、東日本大震災を契機としたエネルギー問題など、環境問題は新たな局面を迎えており、環境負荷の低減に向けた取組みなどをさらに一層推進していく必要があります。

また、かけがえのない地球環境を守り、子どもや孫の世代へ引き継いでいくには、私たち一人ひとりが環境に対する意識を変えていくとともに、環境保全を自発的に取組み、持続可能な社会をめざしていくことも必要となります。

このような状況を踏まえ、第3期に向けた今回の見直しでは、現行計画の基本的な枠組みを継承しつつ、社会情勢の変化や施策の成果などを反映させた計画とするものです。

今後とも、本市がめざすべき環境の姿「みろくの森から道風の里まで 蛙の合唱消えぬ道 暮らしと出会いを大切にすまち」の実現には、市民、事業者、行政がそれぞれの責任とパートナーシップのもと一体となって行動していくことがますます重要になってまいりますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の見直しにあたり、ご尽力を賜りました春日井市環境審議会、生活環境保全専門委員会の各委員の皆様を始め、様々な機会を通じてご助言をいただきました皆様に心からお礼を申し上げます。

平成26年3月

春日井市長 伊藤 太